

決算概要

2021年11月18日

常務取締役 経営企画本部長

余語 岳仁

目次

新型コロナウイルス等の事業への影響	2
2021 年度 2Q 業績	3
新収益認識基準適用・為替影響を除いた損益比較	4
事業セグメント別 売上高・営業利益	5
セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）	6
セグメント業績 - ①医療関連事業（国際）	7
セグメント業績 - ②医薬関連事業	8
セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業	9
セグメント別製品群の売上高	10
セグメント別地域別の売上高	11
製品分類表	12
製商品別売上高	13、14
為替感応度	15
販売費および一般管理費	16
設備投資額・減価償却費	17
主要会社別 期中の設備投資	18
中期経営計画における主要 KPI - ①	19
中期経営計画における主要 KPI - ②	20

新型コロナウイルス等の事業への影響

製造・購買・物流

インド工場(ダイアライザ)	: 既存ラインは通常稼働 新規ラインの工事は再開時期未定
ベトナム工場	: 感染者の増加により、7/15に稼働停止し、10/18から段階的に稼働再開
福島鏡石工場	: 地震の被災により、2/13に稼働停止し、3/7から段階的に稼働を再開し、7月末にほぼ全面稼働
タイ工場	: 感染者の増加により、6/2に稼働停止し、6/10から段階的に稼働を再開し、7月1日に全面稼働
上記以外の国内外工場	: 通常稼働

販売

透析用医療機器	: ダイアライザは中国の需要増加、南米がコロナ前の需要に回復
循環器用医療機器	: 国内はコロナ前の水準まで回復していないものの回復基調にあり、海外は中国の需要が強く販売増加
外科用医療機器	: 日本におけるコロナの影響が緩和し、人工心臓の需要は減少するも人工肺の需要は継続
医療用消耗品	: 国内外ともに、コロナの影響が緩和し、需要は減少傾向にあるもののコロナ前より販売は増加
自社医薬品	: コロナの影響が緩和し、他社品質問題からジェネリック医薬品の需要が強く、販売は増加
受託医薬品	: コロナの影響が緩和するも、抗菌薬などにおいて委託企業の在庫調整が入り、販売は減少
ファーマパッケージング	: 中国・欧米でのワクチン向けバイアルと欧州でのバイオ製剤用シリンジの需要増が継続

臨床試験

臨床試験の実施や承認申請への大きな影響はなし

イオンレス™次亜塩素酸水「シーエルファイン®」を用いた加湿によるヒトコロナウイルス（OC43）減少結果のお知らせ(8月18日)

シーエルファイン®は、独自の電解技術と精製技術により、次亜塩素酸水から不純物のイオン類を除去した微酸性電解水であり、空間加湿によりウイルスを減少させる効果が確認されている。

東大病院との「新型コロナウイルス感染症重症化予測システム」開発委託契約締結のお知らせ(8月24日)

「新型コロナウイルス感染症重症化予測システム」は、人工知能で開発したアルゴリズムが新型コロナウイルス感染症の重症化リスク予測を可能とするものである。



2021年度2Q 業績

(億円)

	2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減	上期予想 (進捗率)	通期予想 (進捗率)
売上高	2,222.5	2,421.2 (※1)	+198.6 +8.9%	2,439.5 99.2%	4,950.0 48.9%
売上原価	1,538.0	1,684.1	+146.0 +9.5%	1,692.0 99.5%	3,430.0 49.1%
売上総利益 (※2)	684.4 30.8%	737.0 30.4%	+52.5 +7.7%	747.5 98.6%	1,520.0 48.5%
販売管理費	539.1 24.3%	608.6 25.1%	+69.4 +12.9%	620.0 98.2%	1,245.0 48.9%
営業利益	145.3 6.5%	128.6 (※1) 5.3%	Δ 16.7 Δ 11.5%	127.5 100.9%	275.0 46.8%
経常利益 (※3)	125.0 5.6%	124.3 5.1%	Δ 0.7 Δ 0.6%	128.5 96.7%	267.0 46.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	54.7 2.5%	73.0 3.0%	+18.2 +33.4%	73.5 99.3%	148.0 49.3%
IFRSに準拠した場合の 当期純利益(概算額)	70.0	87.6	+17.6 +25.1%	-	182.0 48.1%

直近1ヶ年の四半期別推移				
2020年度			2021年度	
2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
1,133.2	1,188.3	1,144.7	1,180.0	1,241.1
785.5	819.9	809.2	817.9	866.2
347.7	368.5	335.5	362.0	374.9
30.7%	31.0%	29.3%	30.7%	30.2%
271.3	282.7	290.3	306.9	301.7
23.9%	23.8%	25.4%	26.0%	24.3%
76.3	85.7	45.2	55.1	73.4
6.7%	7.2%	3.9%	4.7%	5.9%
62.9	72.1	65.5	52.3	72.0
5.6%	6.1%	5.7%	4.4%	5.8%
24.4	49.0	38.3	33.0	40.0
2.2%	4.1%	3.3%	2.8%	3.2%

(※1) 新収益認識基準適用による影響額は売上高で Δ 10.4億円、営業利益で Δ 0.3億円

- **売上高** 新型コロナウイルスによる需要低下が落ち着き、売上高は増加
- **売上総利益** 前年度期末賞与の追加支給により、売上総利益率は微減
- **営業利益** 物流費9.4億円、販促費7.4億円増加、前年度期末賞与の追加支給等により、営業利益は減少
- **経常利益** 為替損益が17.7億円改善したことにより、前期比同程度で推移
- **当期純利益** 前期は米国訴訟の特別損失を計上したため、今期は前年比増益

(※2) 売上総利益への
未実現利益の影響額
2020年度2Q Δ 3.2億円
2021年度2Q 7.9億円

(※3) 為替損益
2020年度2Q Δ 10.7億円
2021年度2Q 6.9億円



新収益認識基準適用・為替影響を除いた損益比較

(億円)

	2020年度 2Q [a]	2021年度 2Q [b]	新収益認識基準 適用の影響 [c]	為替の影響 (※1) [d]	影響を除いた 2021年度 2Q [e=b-c-d]	増減率 [e÷a]
売上高	2,222.5	2,421.2	△10.4	+40.3	2,391.3	+7.6%
売上原価	1,538.0	1,684.1	△10.0	+14.5	1,679.6	
売上総利益	684.4	737.0	△0.3	+25.8	711.5	+4.0%
(%)	30.8%	30.4%			29.8%	△1.0%
販管費	539.1	608.6	+0.0	+8.8	599.8	
営業利益	145.3	128.6	△0.3	+16.9	112.0	△22.9%
(%)	6.5%	5.3%			4.7%	△1.9%
営業外収益	24.3	28.7	+0.0	+17.7	11.0	
営業外費用	44.6	33.0	+0.0		33.0	
経常利益	125.0	124.3	△0.3	+34.6	90.0	△28.0%
特別利益	4.8	5.3	+0.0		5.3	
特別損失	34.7	8.4	+0.0		8.4	
税引前利益	95.0	121.2	△0.3	+34.6	86.9	△8.5%
法人税等	37.1	40.4	△0.5	+10.5	30.4	
非支配株主に 帰属する純利益	3.1	7.7			7.7	
当期利益	54.7	73.0	+0.1	+24.1	48.8	△10.8%

期中平均レート	2020年度 1~6月	2021年度 1~6月
1 USD	108.24	108.45
1 EUR	119.40	130.46
1 中国元	15.32	16.76



事業セグメント別 売上高・営業利益

					(億円)	
売上高			【増減額】	【増減率】	【通期予想】 (5月時点)	【通期予想】 (11月時点)
医療関連事業	2021年度2Q	1,834.3	+178.1	+10.8%	3,738.9	3,725.0
	2020年度2Q	1,656.1				
医薬関連事業	2021年度2Q	349.7	△14.7	△4.1%	763.0	749.3
	2020年度2Q	364.5				
ファーマパッケージング事業	2021年度2Q	234.1	+34.3	+17.2%	446.3	472.4
	2020年度2Q	199.8				
営業利益			【増減額】	【増減率】	【通期予想】 (5月時点)	【通期予想】 (11月時点)
医療関連事業	2021年度2Q	195.9	△6.1	△3.0%	383.6	392.4
	2020年度2Q	202.0				
医薬関連事業	2021年度2Q	26.0	△29.1	△52.8%	102.3	92.4
	2020年度2Q	55.2				
ファーマパッケージング事業	2021年度2Q	21.1	+11.2	+115.3%	21.2	35.0
	2020年度2Q	9.8				

【2021年度新収益認識基準適用による影響額】

売上高

- 医療関連事業 : △989百万円
 - 医薬関連事業 : 6百万円
 - ファーマパッケージング事業 : △58百万円
- 計△1,041百万円

営業利益

- 医療関連事業 : △40百万円
 - 医薬関連事業 : 3百万円
 - ファーマパッケージング事業 : 1百万円
- 計△35百万円



セグメント業績 - ①医療関連事業（国内）

			【増減額】	【増減率】	【通期予想】 (5月時点)	【通期予想】 (11月時点)
国内事業	2021年度2Q	998.2	+84.4	+9.2%	2,087.2	2,042.8
	2020年度2Q	913.8				
医療機器	2021年度2Q	560.2	+43.0	+8.3%	1,273.6	1,157.8
	2020年度2Q	517.2				
医薬品	2021年度2Q	438.0	+41.4	+10.4%	813.5	885.0
	2020年度2Q	396.6				
ダイアライザ	2021年度2Q	109.5	△0.7	△2.7%	234.2	224.0
	2020年度2Q	110.2				

- 医療機器** ダイアライザは2Qから増産対応のための製造ライン停止が解消されたが、2Q累計では対前年を下回った透析装置は、収益認識基準適応の影響と半導体不足による調達難により、対前年を下回ったカテーテル類はコロナ前の水準まで回復していないものの、回復基調にあり、前年比では大きく伸長
 注射針類・輸液関連製品はコロナ前の水準に回復し、前年比では大きく伸長
 手袋・マスク・ガウンなど看護消耗品の特需は、減少傾向にあるものの、前年比では大きく伸長
- 国内医薬** 剤形問わず、全体的に需要拡大により、販売が堅調

セグメント業績 - ① 医療関連事業 (国際)

(億円)

			【増減額】	【増減率】	【通期予想】 (5月時点)	【通期予想】 (11月時点)
国際事業	2021年度2Q	815.6	+93.0	+12.9%	1,616.8	1,645.2
	2020年度2Q	722.6				
B2B(他社ブランド)	2021年度2Q	105.9	+12.3	+13.1%	201.6	231.5
	2020年度2Q	93.6				
ニプロブランド	2021年度2Q	709.6	+80.6	+12.8%	1,415.1	1,413.7
	2020年度2Q	629.0				
アメリカ	2021年度2Q	301.5	+25.9	+9.4%	590.8	605.7
	2020年度2Q	275.6				
ヨーロッパ	2021年度2Q	199.7	+21.8	+12.3%	382.6	388.0
	2020年度2Q	177.9				
アジア	2021年度2Q	117.9	+8.0	+7.3%	241.7	237.7
	2020年度2Q	109.9				
中国	2021年度2Q	90.4	+25.0	+38.2%	200.0	182.3
	2020年度2Q	65.4				
ダイアライザ 海外 売上高	2021年度2Q	264.0	+16.0	+6.5%	530.1	542.2
	2020年度2Q	248.0				

➤ **B2B** 翼状針・インスリン用針の販売が堅調

➤ **ニプロブランド** ダイアライザの数量について、
 中国 : 堅調
 南米 : 2Qで前年並みに回復
 北米・アジア : 前年並みまでは回復していないものの、回復基調
 欧州 : 軟調

その他製品について、
 北中南米でのシリンジは、コロナ緩和の影響もあり、堅調
 北中南米・欧州・中国での翼状針、中国・欧州・アジアでの透析機器、南米での透析センターは堅調



セグメント業績 - ② 医薬関連事業

			【増減額】	【増減率】	【通期予想】 (5月時点)	【通期予想】 (11月時点)
医薬関連事業		2021年度2Q 2020年度2Q	△14.7	△4.1%	763.0	749.3
						(億円)
< 受託売上高内訳 >						
ジェネリック品	2021年度2Q 2020年度2Q	190.3 203.3	△13.0	△6.4%	409.8	408.5
先発品	2021年度2Q 2020年度2Q	118.2 124.4	△6.2	△5.0%	269.9	253.7
OTC 原薬他	2021年度2Q 2020年度2Q	19.6 17.6	+2.0	+11.4%	43.0	42.1
JMIファーマ	2021年度2Q 2020年度2Q	21.8 19.1	+2.7	+14.1%	40.3	45.1

- ジェネリック品 Covid-19の影響に伴う顧客の在庫調整により販売が減少
- 先発/長期収載品 注射剤において大口製品の受託契約満了品があり、販売が減少
- OTC/原薬他 製造委託先への原薬販売が増加
- JMIファーマ 営業人員を増強して販路拡大し、販売が増加

セグメント業績 - ③ファーマパッケージング事業

		(億円)			
		【増減額】	【増減率】	【通期予想】 (5月時点)	【通期予想】 (11月時点)
ファーマパッケージング事業	2021年度2Q	234.1			
	2020年度2Q	199.8			
		+34.3	+17.2%	446.3	472.4
< 地域別売上高内訳 >					
日本	2021年度2Q	55.8			
	2020年度2Q	57.6			
		△1.8	△3.1%	109.6	108.9
海外	2021年度2Q	178.2			
	2020年度2Q	142.2			
		+36.0	+25.3%	336.7	363.5
ヨーロッパ	2021年度2Q	86.4			
	2020年度2Q	71.6			
		+14.8	+20.7%	170.0	177.1
アメリカ	2021年度2Q	49.6			
	2020年度2Q	47.0			
		+2.6	+5.5%	93.4	96.4
中国	2021年度2Q	35.9			
	2020年度2Q	18.2			
		+17.7	+97.3%	62.8	78.6
インド	2021年度2Q	6.2			
	2020年度2Q	5.2			
		+1.0	+19.2%	10.5	11.5

- ▶ **日本** 院内処方への減少に伴い、バイアル加工メーカーからの生地管の受注が減少したことにより、販売が減少
一方、医療機器関連でデンタル針・歯科用麻酔剤の出荷が回復
- ▶ **海外** 中国・欧米でのワクチン向けバイアル、中国でのワクチン向けシリンジ、
欧州でのバイオ製剤用シリンジの販売が堅調



セグメント別製品群の売上高

(億円)

セグメント 製品		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケー ジング事業	その他 事業	合計
医療機器	2021年度2Q	1,358.6	0.0	14.7 (※3)	0.0	1,373.3
	2020年度2Q	1,233.1	0.0	14.7	0.0	1,247.8
医薬品	2021年度2Q	475.2 (※1)	349.7 (※2)	2.4	0.0	827.5
	2020年度2Q	422.7	364.5	1.5	0.0	788.7
ファーマ パッケージング	2021年度2Q	0.1	0.0	216.6	0.0	216.7
	2020年度2Q	0.1	0.0	182.8	0.0	183.0
その他	2021年度2Q	0.3	0.0	0.3	2.9	3.5
	2020年度2Q	0.1	0.0	0.7	2.0	2.8
合計	2021年度2Q	1,834.3	349.7	234.1	2.9	2,421.2
	2020年度2Q	1,656.1	364.5	199.8	2.0	2,222.5

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品



セグメント別地域別の売上高

(億円)

セグメント 地域		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパケ ージング事業	その他 事業	合計
日本	2021年度2Q	980.6	325.6	56.3	2.7	1,365.3
	2020年度2Q	906.9	342.2	56.8	1.9	1,307.9
海外計	2021年度2Q	853.7	24.0	177.8	0.1	1,055.8
	2020年度2Q	749.2	22.3	142.9	0.0	914.6
アメリカ	2021年度2Q	332.6	0.2	46.7	0.0	379.6
	2020年度2Q	302.0	0.0	44.5	0.0	346.5
ヨーロッパ	2021年度2Q	223.0	1.2	86.5	0.1	311.0
	2020年度2Q	195.7	0.4	68.6	0.0	264.9
中国	2021年度2Q	118.2	0.0	35.9	0.0	154.1
	2020年度2Q	83.0	0.6	18.3	0.0	102.0
その他アジア	2021年度2Q	179.9	22.5	8.5	0.0	211.0
	2020年度2Q	168.4	21.1	11.5	0.0	201.1
合計	2021年度2Q	1,834.3	349.7	234.1	2.9	2,421.2
	2020年度2Q	1,656.1	364.5	199.8	2.0	2,222.5

製品分類表

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカメラ 他
検査製品	ネオチューブ、採血針 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他
医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
生地管関連	医薬用生地管、非医療用生地管、硝子原料
アンプル硝子	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
バイアル硝子	バイアル（ブローバック、スクリュー、滅菌済等）
シリンジ硝子	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用硝子
その他	硝子容器その他、特殊硝子容器、カートリッジ硝子その他など

製商品別売上高（1）

（億円）

事業分類		全社				海外				日本			
		2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減額	増減率	2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減額	増減率	2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減額	増減率
[医療機器]	ダイヤライズ	358.2	373.5	+15.3	+4.3%	248.0	264.0	+16.0	+6.4%	110.2	109.5	△0.7	△0.6%
	透析機器	88.8	105.1	+16.3	+18.4%	47.1	67.7	+20.6	+43.7%	41.7	37.3	△4.3	△10.4%
	その他透析関連	154.1	171.5	+17.3	+11.2%	117.6	132.8	+15.2	+13.0%	36.5	38.6	+2.1	+5.7%
	透析関連製品計	601.3	650.2	+48.9	+8.1%	412.8	464.6	+51.8	+12.6%	188.4	185.5	△2.9	△1.6%
	注射針類	170.3	201.7	+31.4	+18.4%	105.0	124.1	+19.1	+18.2%	65.2	77.5	+12.3	+18.9%
	バスキューラ関連製品	129.4	150.6	+21.2	+16.3%	14.4	23.7	+9.4	+65.0%	115.0	126.8	+11.8	+10.3%
	輸液関連製品	73.0	82.1	+9.0	+12.3%	23.6	26.5	+2.9	+12.1%	49.4	55.5	+6.2	+12.5%
	検査製品	50.0	54.2	+4.3	+8.5%	34.5	37.9	+3.3	+9.7%	15.4	16.3	+0.9	+6.0%
	糖尿病関連製品	42.4	42.9	+0.5	+1.3%	33.7	35.0	+1.3	+3.9%	8.6	7.8	△0.8	△9.1%
	SD関連製品	19.6	17.5	△2.0	△10.3%	2.2	2.9	+0.8	+35.6%	17.3	14.5	△2.8	△16.1%
	その他	159.4	172.5	+13.1	+8.2%	96.2	101.0	+4.7	+4.9%	63.1	71.5	+8.4	+13.3%
部門計		1,245.7	1,372.1	+126.4	+10.1%	722.8	816.1	+93.3	+12.9%	522.8	555.9	+33.1	+6.3%
[医薬品(自社)]	経口剤	182.8	194.7	+12.0	+6.5%	-	0.1	+0.1	-	182.8	194.6	+11.8	+6.5%
	注射剤・輸液	171.2	201.5	+30.3	+17.7%	25.1	35.6	+10.5	+41.7%	146.1	165.9	+19.8	+13.6%
	外用剤・貼付剤	22.2	33.3	+11.1	+50.1%	-	-	-	-	22.2	33.3	+11.1	+50.1%
	その他・体外診断薬等	46.4	45.6	△0.8	△1.8%	1.0	1.6	+0.6	+61.1%	45.3	43.9	△1.5	△3.2%
	部門計	422.7	475.2	+52.6	+12.4%	26.1	37.4	+11.3	+43.0%	396.5	437.8	+41.3	+10.4%
[医薬品(受託)]	経口剤	150.8	142.4	△8.3	△5.5%	0.9	0.4	△0.4	△45.6%	149.9	141.9	△7.9	△5.3%
	注射剤・輸液	158.0	146.0	△12.0	△7.6%	0.5	1.2	+0.7	+120.1%	157.5	144.8	△12.6	△8.0%
	外用剤・貼付剤	28.9	28.2	△0.6	△2.2%	1.5	0.2	△1.3	△84.5%	27.3	28.0	+0.7	+2.4%
	その他・体外診断薬等	9.0	13.4	+4.4	+48.9%	0.1	0.2	+0.1	+71.4%	8.9	13.2	+4.3	+48.6%
	部門計	346.8	330.3	△16.5	△4.8%	3.1	2.1	△0.9	△30.4%	343.7	328.1	△15.6	△4.5%
[医薬品(JMIP)]	経口剤	18.9	21.6	+2.7	+14.0%	18.9	21.6	+2.7	+14.0%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.1	0.2	+0.0	+23.4%	0.1	0.2	+0.0	+23.4%	-	-	-	-
	部門計	19.1	21.8	+2.7	+14.1%	19.1	21.8	+2.7	+14.1%	-	-	-	-



製商品別売上高（2）

（億円）

事業分類		全社				海外				日本			
		2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減額	増減率	2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減額	増減率	2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減額	増減率
【ファーマ パッケージング】	生地管関連	49.0	47.1	△1.9	△3.8%	37.7	37.1	△0.6	△1.7%	11.3	10.0	△1.2	△11.0%
	アンプル硝子	19.5	23.8	+4.3	+22.0%	19.4	23.7	+4.3	+22.2%	0.0	0.0	△0.0	△25.6%
	バイアル硝子	62.1	82.5	+20.4	+32.8%	52.9	74.6	+21.7	+41.0%	9.2	7.9	△1.3	△14.1%
	シリンジ硝子	23.5	30.4	+6.9	+29.2%	23.5	30.2	+6.7	+28.3%	-	0.2	+0.2	-
	ゴム栓・栓体類	9.3	9.8	+0.5	+5.3%	2.8	3.8	+1.0	+33.1%	6.4	6.0	△0.5	△7.0%
	プラスチック容器	9.6	10.9	+1.3	+13.1%	0.7	0.0	△0.7	△90.0%	8.9	10.8	+2.0	+21.9%
	魔法瓶	2.0	1.8	△0.1	△6.6%	-	-	-	-	2.0	1.8	△0.1	△6.6%
	その他	7.6	10.0	+2.4	+31.7%	5.7	8.1	+2.5	+43.3%	1.9	1.8	△0.1	△2.8%
部 門 計		183.0	216.7	+33.7	+18.4%	143.0	177.8	+34.8	+24.3%	39.9	38.9	△1.0	△2.6%
【再生医療】	再生医療等製品	2.1	1.2	△0.9	△43.3%	-	-	-	-	2.1	1.2	△0.9	△43.3%
【その他】	生産機械販売・不動産賃貸	2.8	3.5	+0.7	+24.5%	0.2	0.3	+0.1	+43.8%	2.6	3.2	+0.6	+22.7%
連結合計		2,222.5	2,421.2	+198.7	+8.9%	914.6	1,055.8	+141.2	+15.4%	1,307.9	1,365.3	+57.5	+4.4%

為替感応度

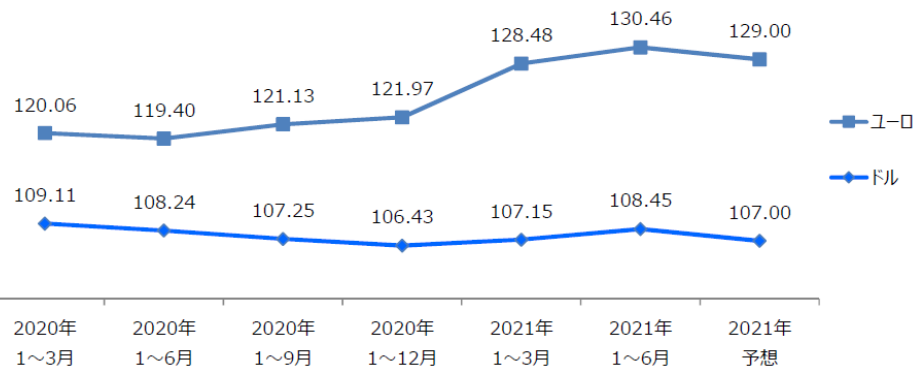
【1円変動による年間影響額】

(億円)

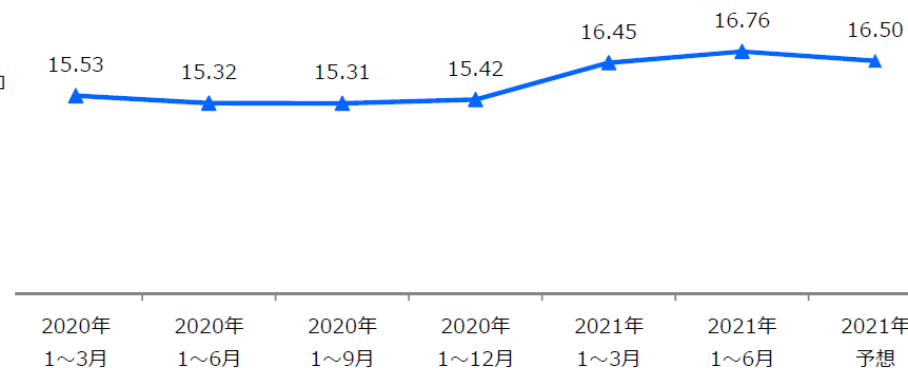
	ドル	ユーロ	元
売上高	7.7	4.8	16.7
営業利益	0.6	1.6	11.2

【期中平均レート】

ドル・ユーロ



元



販売費および一般管理費

【販売費および一般管理費】

(億円)

項目	2020年度2Q	2021年度2Q		増減	増減率
		実績	構成比		
人件費	176.7	206.2	33.9%	+29.5	+16.7%
旅費交通費	12.2	14.5	2.4%	+2.3	+18.9%
販促費(※1)	33.6	41.0	6.7%	+7.4	+22.0%
物流費(※2)	63.4	72.8	12.0%	+9.4	+14.8%
研究開発費	88.1	87.9	14.4%	△0.2	△0.2%
償却費(※3)	48.6	54.7	9.0%	+6.1	+12.6%
その他	116.2	131.1	21.5%	+14.9	+12.8%
合計	539.1	608.4	100.0%	+69.3	+12.9%

(※1) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

(※2) 運送費・保管料

(※3) 減価償却費・のれん償却費・開発償却費

➤ 販売費および一般管理費

人件費 従業員数の増加に伴い人件費も増加
 販促費 営業活動が徐々に再開され、増加
 物流費 運送費用の高騰により、増加

➤ 研究開発費

医療 バスキューラー子会社で新製品の臨床評価の費用が増加
 医薬 経口剤関連の開発費用が増加

【研究開発費(連結)】

(億円)

	2020年度 2Q	2021年度 2Q	通期予想 (進捗率)
医療	39.5	41.6	84.0 49.5%
医薬	46.4	49.1	106.0 46.3%
合計	86.0	90.8	190.0 47.8%



設備投資額・減価償却費

(億円)

	設備投資額 (※)			減価償却費		
	2020年度 2Q	2021年度 2Q	通期予想 (進捗率)	2020年度 2Q	2021年度 2Q	通期予想 (進捗率)
医療関連	242.4	69.9	198.5 35.2%	88.7	95.4	207.5 46.0%
医薬関連	55.1	84.1	200.5 41.9%	58.7	63.4	141.0 45.0%
ファーマパッケージング	19.4	16.8	95.5 17.6%	20.3	24.0	45.0 53.3%
その他	9.7	14.3	33.5 42.7%	24.3	23.9	34.0 70.3%
合計	326.8	185.2	528.0 35.1%	192.2	206.9	427.5 48.4%

(※) 設備投資額は検収ベース

➤ 設備投資額

医療は前年に再生医療製造設備に関する投資があったことの反動で大きく減少。

医薬はニプロファーマ伊勢工場の新棟建設等により増加。

新型コロナウイルスの影響に伴う工期遅延により未稼働設備が増加したことから、各事業セグメントにおいて通期予想に対し進捗率は低下。

➤ 減価償却費

医療・医薬は、新型コロナウイルスの影響に伴う設備投資の工期遅延により、通期予想に対して進捗率が低下。



主要会社別 期中の設備投資

(億円)

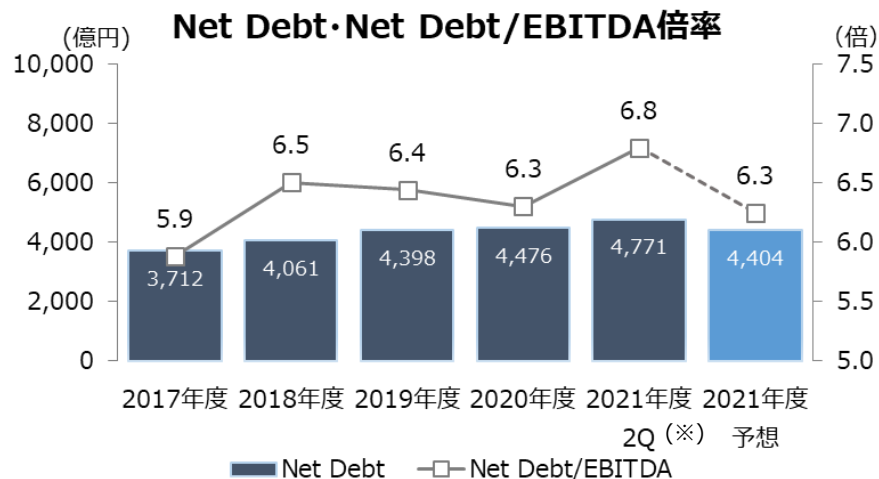
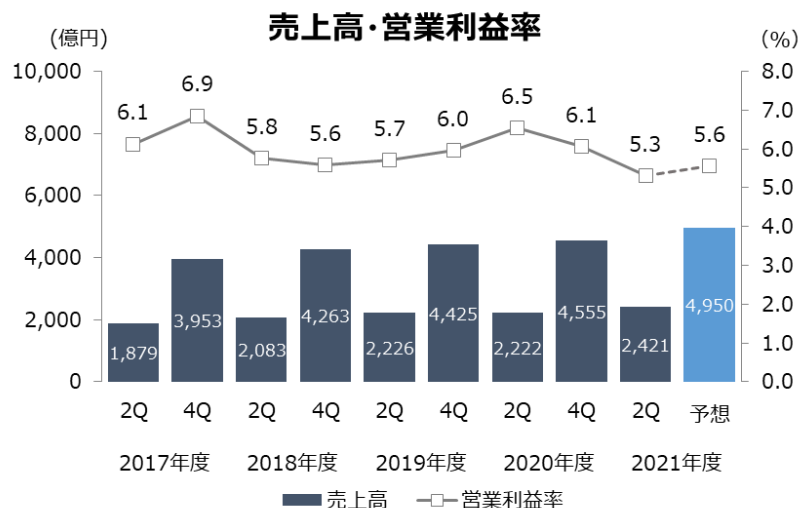
会社名	金額	主な内容
ニプロ	46.9	大館工場 21.4 ダイアライザ関連設備 等 埼玉研究所 1.5 研究棟改修工事
ニプロファーマ	76.8	大館工場 20.9 試験棟 増設工事 等 伊勢工場 37.0 新バイアル棟建設工事および製造設備、新シリンジ棟建設工事 等 鏡石工場 9.2 経口剤増産対応設備 等
ニプロメディカルコーポレーション	21.5	透析医療機器、透析クリニック不動産・設備 等
ニプロファーマパッケージングジャーマニー	5.0	バイアル、シリンジ生産ライン 等
ニプロメディカルヨーロッパ	2.4	透析液製造装置 等

中期経営計画における主要KPI - ①

2024年度に向けたガイドライン

成長性	売上高成長率	年平均7.0%以上
収益性	営業利益率	9.0%以上

財務健全性	EBITDA純有利子負債倍率	4倍台
-------	----------------	-----



➤ 売上高

2017年度から2020年度までの売上高年平均成長率は4.8%。コロナ影響による需要低下が落ち着き、2021年度は上期時点で対前年8.9%の増加。今後も売上高は堅調に推移し、通期では対前年8.6%の増加を見込む。

➤ 営業利益率

2018年度以降、営業利益率は少しずつ改善。2021年度上期時点では、前期期末賞与を1Qで追加支給したことによる人件費増、世界的な物流費増などにより5.3%に低下。下期は経費削減に努め、通期では5.6%に改善を見込む。

➤ 純有利子負債

2020年度まで設備投資の増加により純有利子負債額は増加傾向。2021年度上期は、自社GE事業におけるライセンス取得や大型の設備投資を行ったことで純有利子負債が増加したが、下期は新規設備投資の抑制と利益増により前年対比減少を目指す。

➤ Net Debt/EBITDA倍率

2018年度以降、営業利益の増加によりEBITDA倍率は減少傾向。2021年度上期は、EBITDAは対前年同程度で推移したものの、純有利子負債が大きく増加した影響でEBITDA倍率も増加。下期は純有利子負債の減少により、対前年同程度のEBITDA倍率を見込む。

(※)EBITDAは2020年度上期実績を年間換算

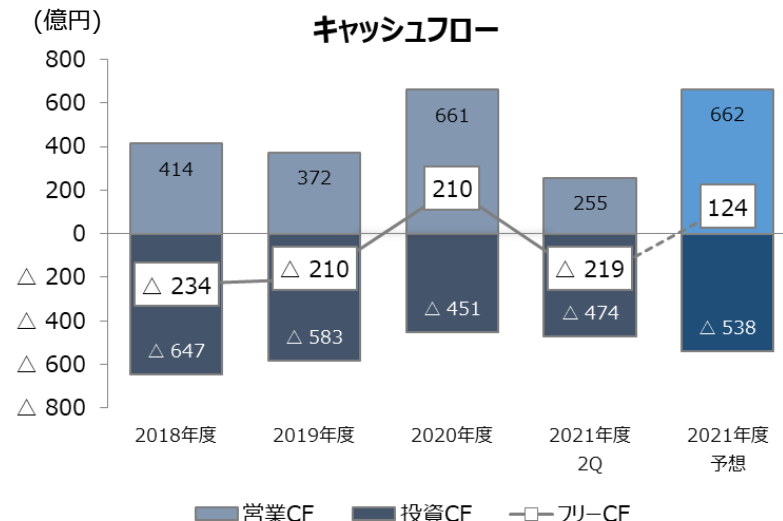
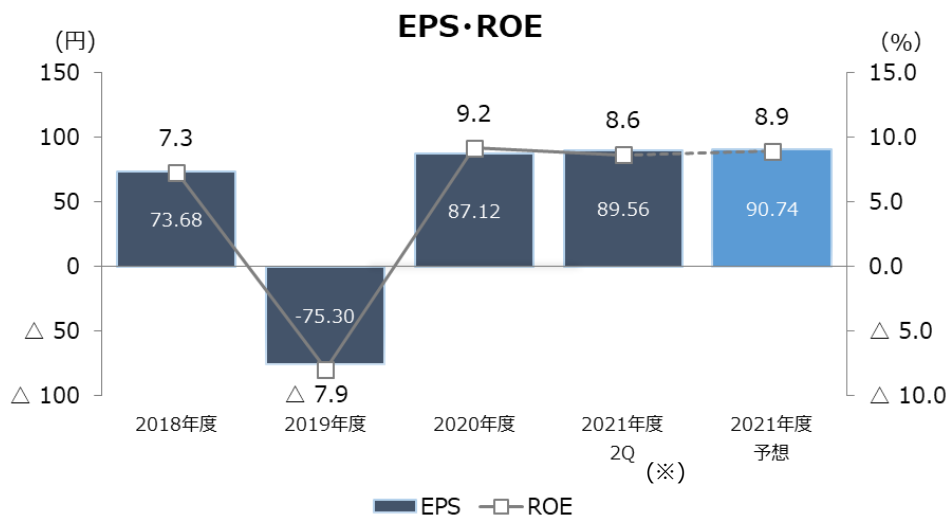


中期経営計画における主要KPI - ②

2024年度に向けたガイドライン

資産効率 ROE 14.0%

投資効率 フリーキャッシュフロー 黒字化



➤ ROE

2021年度上期は営業利益が対前年減益となったものの、為替損益が黒字に転じたことに加え、前年は米国での訴訟に関する特別損失を計上していた影響から、当期純利益は増加。

これにより、EPSは年間換算で89.56円と増加。しかしながら、円安進行による為替換算調整により自己資本が増加したことに加え、2019年度は自己資本が減少していたことが影響しROEは8.6%と減少した。

➤ フリーCF

2020年度にフリーCFの黒字転換を達成。しかし2021年度上期は、営業CFは対前年同程度で推移したものの、自社GE事業におけるライセンス取得費用やニプロファーマの伊勢工場シリンジ新棟取得費用など投資支出が大きく増加し、フリーCFは219億円の赤字となった。

下期では、債権流動化の促進等で営業CFを前年同程度に維持しつつ、リース資産化や有価証券の売却等で投資CFを改善し、通期でのフリーCF黒字確保を目指す。

(※)2020年度上期実績を年間換算

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。

